



後藤 雅克
創生会

学校教育の現状と 今後について

地域とともにある学校づくりを進める

質

非常に素晴らしい取り組みだと期待している、9年間を見通した連携型小中一貫教育について伺う。

答 学校教育課長

連携型小中一貫教育は本市の実態に沿った教育活動であり、平成26年度から、9年間を見通した教育課程を編成し、各町の小中学校で取り組んでいます。これまでの5年間の研究を基に、完全に一体となる義務教育学校へ

質

不登校児童生徒対策について伺う。

答 学校教育課長

不登校児童生徒は、平成28年が37人、29年が37人、30年が52人と増加傾向にあります。本年度より教育支援センター「かじか」を平日3日から、5日の開室とし機能強化をしています。スクールソーシャルワーカーと連携し、事案発生時に迅速に対応出来るように努めています。

質

学力レベルに応じた学校現場の対応について伺う

答 学校教育課長

低学力層の解消と学びに向かう集団づくりを大きな柱として位置づけ、子どもの力に応じた習熟度別指導や、基礎基本の個別指導を行うスキルタイムの設定、放課後を活用した課題別指導等を行っています。本年度から、小学校高学年において、3校を研究校に指定し、教科担任制を導入しています。この教科担任制は、「複数の眼で個々の児童を理解できる。」「児童個々のニーズに合った指導が展開できる。」「教員の専門性が生かされ創意工夫した授業展開ができる。」などの効果がある。



朝地小・中学校(連携型小・中一貫教育)

ケーブルテレビは今後どのように 継続していくのか

合理的、効率的な運営に努める

質

事業費約48億円の巨額の設備投資で、本市の抱える情報通信分野や、高速情報通信分野での諸問題を解決するため、光ファイバーケーブル網の整備や市民生活の向上を図る目的で開局、運営された。その役割は大きいですが、今後どのように推移、継続していくのか。

答 総務課長

今後においては、市の行政情報や災害時の防災情報を市民に伝達という重要な役割を

質

ケーブルテレビの収入源は主に一世帯千円の使用料だが、8年がたち、経費の高騰や設



蝙蝠(こうもり)の滝

備の更新もしなければならぬ。この使用料の値上げは考えていないのか。

答 総務課長

この事業の性質や、導入、普及した経緯を踏まえ、現時点での使用料の増額は検討していません。

質

宿泊業者や里の旅公社との連携は考えているのか。

答 市長

ワーキンググループで、商工会や飲料店組合、道の駅、里の旅公社等の協力を得て、全国ジオパークパビリオンや飲食、物産ブースの出店等について準備しています。

日本ジオパーク全国大会 の準備は

万全の準備を整える

質

本市には、景観にマッチした多くの石橋があるが、ほとんどの石橋が管理されてなく、雑草等で石組も見えないものがある。この全国大会を機に、石橋整備にも力を入れて欲しい。

答 商工観光課長

石橋についても、今後清掃等の環境美化に努めたいと思います。

その他の質問
・移住定住の促進について